



2020年10月2日

各 位

会 社 名 川口化学工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 山田 吉隆  
 (コード番号 4361 東証第2部)  
 問合せ先 常務取締役 荻野 幹雄  
 (TEL 048-222-5171)

### 2020年11月期通期連結業績予想修正に関するお知らせ

2020年7月3日に公表した「2020年11月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2020年11月期通期連結業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### ●2020年11月期通期連結業績予想数値の修正

(2019年12月1日～2020年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	6,450	100	105	75	61.59
増 減 額 (B - A)	—	—	—	—	
増 減 率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年11月期)	7,488	190	187	146	120.48

#### 修正の理由

2020年11月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的な業績予想の算定が困難な状況にあるため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測などに基づき算定いたしましたので公表いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の経済活動停滞により、自動車関連産業向け当社グループ主要製品であるゴム薬品の需要は前期に比べ国内、海外共に大幅な減少が生じております。自動車生産台数は前期比5月に底を打ち、6月以降復調傾向にあるものの、当社グループ顧客であるサプライチェーンの流通在庫調整影響から、回復のスピードは緩やかであると見込んでおります。

一方、医療用用途ゴム薬品や医薬中間体、受託生産品の一部品目は、顧客需要の拡大に応じた供給体制をとった結果、通期連結業績において売上、利益の確保に寄与するものと推測しております。

しかしながら、ゴム薬品、樹脂薬品、一部農薬・医薬中間体を除く中間体及びその他薬品の各部門において、受注は完全に回復しておらず、売上高は通期で前期比14%減少する見込みです。損益面につきましては、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきまして、前期比減益となる見込みです。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上